

名前:

最近、インターネットで何でもできるとい
います。天気はどうだろうということから一
回の出会いまで出来るようになりました。そ
の中にニュースとか雑誌もふくまれています。
便利でよくインターネットを使って読む
私ですが、新聞や雑誌をなくすと言ったら反
対です。
もちろん、買わなくても読める(そうじゃ
ない新聞、雑誌もあるかもしれませんが)、
紙の使用率を減らすことができるというのは
最も大きな長所でしょう。ですが長い間使っ
てきた、読んできたそれらがなくなるとどう
でしょう。新聞や雑誌から始め、小説とか
もインターネットで読めるようになって、そ
れももう紙にプリントアウトしなくていい
と思われるようになって、私たちのへやは
さびしくなると思いませんか。
もう一つ、短所を言えば、体がつかれると
いうことです。インターネットをするために
はコンピューターを使わなければならないの

で、モニターを見る時間がふえるようになり
ます。新聞とかを読む時は、けっこう時間が
かかるので、目もこしもつかれるのです。コ
ンピューターの使う時間の長い人の中にこし
とかかたとかがわるくなった人もいます。そ
うです。
私は手にふれる紙のかるさが好きで、新聞
とか小説とかはあまりインターネットで読み
ません。私と同じ人も多いいんじゃないかと
思います。本を(何の本だっけ)買うたびに
心が嬉しさでいっぱいになった人ももちろん
いるでしょう。こんなアナログのサリもくが
あるから二日を楽しく生きていけるのではな
いのでしょうか。これは私の小さな願いかも
しれませんが、図書館の人々、地下でつで
新聞とかを読んでいる人々の楽しみをうばわな
いでほしいと思います。